

スーパーベルク前交差点の信号機設置、カスミストアや東初石3丁目交差点への右折信号設置など

『市やUR都市機構からも要請聞いている』



市議

小田桐たかし



県議予定候補

矢田春代

は「予算枠があり、1台も設置しない自治体もあり、基本は交差点完成後の対応」としながらも「別枠との指摘はその通り。善処したい」と回答しました。

小田桐市議は、「4・5年前まで、開発区域は別扱いとし、市・開発者・地元警察・地元自治会が暫定交差点でも信号機設置を協議し、安全対策に奮闘した。当時の奮闘が事故防止に役立っており、引き続きに努力を」と一層の取り組み強化を求めました。



矢田春代県議予定候補（左から3番目）と党市議団、後援会のみなさんと。小田桐たかし市議（右から3番目後方）も同行しました。

日本共産党市議団と党後援会は、2月12日、矢田春代県議予定候補と一緒に柏及び流山警察へ、交通安全対策について要請（24項目）を行いました。加藤英雄県議（柏市選出）が同行しました。

毎年、信号機設置や右折信号等の改良要望が40ヶ所を超え、「人が死ななければ信号が付かない」と市民の声が聞かれる事態です。

小田桐たかし市議は、個別具体的な要望と同時に、「市の5分の1を開発している本市の実態から、年間、全市で3〜4台という総枠の設置では進まない」「信号機設置は、開発地域を別扱いで対応してほしい」と要請。

流山警察署の担当者